

教科の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
(2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
(3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

学年の目標

(1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解することができるようにする。
(2) 論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになる。
(3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

評価の観点

月	内容のまとめ	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4 5		見えないだけ アイスブラネット 季節のしおり 春 枕草子 魅力的な提案をしよう 漢字に親しもう1 文法への扉1 単語をどう分ける？ →文法1 自立語 (P234-237)	・第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むこと。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 ・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解すること。 ・情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うこと。 ・現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方をすること。 ・目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討すること。	・目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討すること。 ・論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。 ・目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること。 ・文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えること。 ・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすること。	・進んで語感を磨き、今までの学習を生かして朗読しようとしている。 ・積極的に登場人物の設定のしかたなどを捉え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。 ・進んで論理の展開などに注意して聞き、今までの学習を生かして疑問点や確認したい点を考えようとしている。 ・伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。 ・進んで文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、学習課題に沿って自分ならではの季節感を表す文章を書くようとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使おうとしている。 ・粘り強く多様な方法で集めた材料を整理し、学習の見通しをもって職業ガイドを作ろうとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
5 6		クマゼミ増加の原因を探る 情報整理のレッスン 思考の視覚化 漢字1 熟語の構成 情報を整理して伝えよう 漢字に親しもう2	・言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気付くこと。 ・第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むこと。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 ・単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解するとともに、話や文章の構成や展開について理解を深めること。 ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解すること。	・自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫すること。 ・資料や機器を用いるなどして、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。 ・文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えること。 ・文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈すること。	・積極的に文章と図表などを結び付け、学習の見通しをもって考えたことを話し合おうとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に具体と抽象の関係について理解しようとしている。 ・粘り強く自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫し、学習の見通しをもってプレゼンテーションをしようとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 ・今までの学習を生かして、積極的に自立語について理解を深めようとしている。

6	言葉と向き合う	短歌に親しむ 短歌の創作教室 短歌を味わう 言葉の力 言葉1 類義語・対義語・多義語	・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 ・本や文章などには、様々な立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすこと。	・根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。 ・観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えること。 ・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすること。	・進んで短歌の構成や表現の効果について考え、学習の見通しをもって短歌を創作しようとしている。 ・進んで文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。 ・今までの学習を生かして、積極的に類義語と対義語、多義的な意味を表す語句などについて理解しようとしている。 ・今までの学習を生かして、積極的に抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨こうとしている。
7	情報×SDGs	メディアの特徴を生かして情報を集めよう デジタル市民として生きる	・情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うこと。	・目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること。 ・目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈すること。 ・観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えること。	・粘り強く観点を明確にして文章を比較し、学習課題に沿って目的や状況に応じたメディアの選び方を理解しようとしている。
7	いつも本はそばに	読書を楽しむ 翻訳作品を読み比べよう 星の王子さま 読書コラム 「わからない」は人生の宝物 読書案内 本の世界を広げよう 季節のしおり 夏	・本や文章などには、様々な立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすこと。	・観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えること。 ・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすること。	・本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを進んで知り、今までの学習を生かして、本の魅力や感想を共有しようとしている。
9	人間のきずな	ヒューマノイド 字のない葉書 聞き上手になろう 表現を工夫して書こう [推敲]表現の効果を考える 言葉2 敬語 漢字2 同じ訓・同じ音をもつ漢字 漢字に親しもう3	・言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気付くこと。 ・第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むこと。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 ・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 ・敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使うこと。 ・現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知ること。	・論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。 ・根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。 ・読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えること。 ・目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈すること。 ・観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えること。	・粘り強く登場人物の言動の意味について考え、学習課題に沿って作品の印象を伝え合おうとしている。 ・進んで表現の効果について考え、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。 ・粘り強く論理の展開に注意して聞き、今までの学習を生かして思いや考えを引き出す質問をしようとしている。 ・積極的に自分の考えが伝わる文章になるように工夫し、学習課題に沿って通信手段を選び、通信文を書こうとしている。 ・粘り強く文章を整え、今までの学習を生かして手紙を推敲しようとしている。 ・今までの学習を生かして、積極的に敬語の働きについて理解しようとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に同音異義語を理解し、漢字を読んだり書いたりしようとしている。

10	論 理 を 捉 え て	モアイは語る―地球の未来 思考のレッスン1 根拠の吟味 適切な根拠を選んで書こう 漢字に親しもう4 [討論]異なる立場から考える 月夜の浜辺 季節のしおり 秋	・第1学年までに学習した常用漢字に加え、 その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むこと。また、学 年別漢字配当表に示されている漢字を書き、 文や文章の中で使うこと。 ・抽象的な概念を表す語句の量を増すととも に、類義語と対義語、同音異義語や多義的な 意味を表す語句などについて理解し、話や文 章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙 を豊かにすること。 ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報と の関係について理解すること。	・目的や場面に応じて、社会生活の中から話 題を決め、異なる立場や考えを想定しながら 集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討す ること。 ・互いの立場や考えを尊重しながら話し合 い、結論を導くために考えをまとめること。 ・根拠の適切さを考えて説明や具体例を加え たり、表現の効果を考えて描写したりするな ど、自分の考えが伝わる文章になるように工 夫すること。 ・観点を明確にして文章を比較するなどし、 文章の構成や論理の展開、表現の効果につ いて考えること。 ・文章を読んで理解したことや考えたことを 知識や経験と結び付け、自分の考えを広げ たり深めたりすること。	・粘り強く論理の展開について考え、学習の 見通しをもって筆者の主張に対する自分の考 えを文章にまとめようとしている。 ・今までの学習を生かして、積極的に意見と 根拠の関係について理解しようとしている。 ・粘り強く根拠の適切さを考え、学習の見通 しをもって意見文を書こうとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に漢字を読ん だり書いたりしようとしている。 ・進んで意見と根拠の関係について理解し、 今までの学習を生かして異なる立場の人の意 見を想定しようとしている。 ・進んで互いの立場や考えを尊重し、学習の 見通しをもって討論しようとしている。 ・進んで表現の効果について考え、今までの 学習を生かして詩を朗読しようとしている。 ・伝統的な言語文化に関するこれまでの学習 を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化 を大切にしようとしている。
11	い に し え の 心 を 訪 ね る	平家物語 扇の的―「平家物語」から 仁和寺にある法師―「徒然草」から 漢詩の風景	・作品の特徴を生かして朗読するなどして、 古典の世界に親しむこと。 ・現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読 むことを通して、古典に表れたものの見方や 考え方を知ること。	・伝えたいことが分かりやすく伝わるよう に、段落相互の関係などを明確にし、文章の 構成や展開を工夫すること。 ・目的に応じて複数の情報を整理しながら適 切な情報を得たり、登場人物の言動の意味な どについて考えたりして、内容を解釈するこ と。 ・文章を読んで理解したことや考えたことを 知識や経験と結び付け、自分の考えを広げ たり深めたりすること。	・進んで古典に表れたものの見方や考え方を 知り、学習課題に沿って朗読しようとしてい る。 ・進んで登場人物の言動の意味について考 え、学習課題に沿って考えたことを伝え合 おうとしている。 ・積極的に考えたことを知識や経験と結び付 け、学習の見通しをもって登場人物について 論じる文章を書こうとしている。 ・進んで作品の特徴を生かして朗読し、学習 課題に沿って好きな漢詩を選び、その理由を 述べようとしている。
12	価 値 を 語 る	君は「最後の晚餐」を知っているか 「最後の晚餐」の新しさ 漢字に親しもう4 文法への扉2 走る。走らない。走ろ うよ。 →文法2 用言の活用 (P238-243)	・第1学年までに学習した常用漢字に加え、 その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むこと。また、学 年別漢字配当表に示されている漢字を書き、 文や文章の中で使うこと。 ・抽象的な概念を表す語句の量を増すととも に、類義語と対義語、同音異義語や多義的な 意味を表す語句などについて理解し、話や文 章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙 を豊かにすること。 ・単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文 の成分の順序や照応など文の構成について理 解するとともに、話や文章の構成や展開につ いて理解を深めること。 ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報と の関係について理解すること。 ・情報と情報との関係の様々な表し方を理解 し使うこと。	・根拠の適切さを考えて説明や具体例を加え たり、表現の効果を考えて描写したりするな ど、自分の考えが伝わる文章になるように工 夫すること。 ・表現の工夫とその効果などについて、読み 手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよ い点や改善点を見いだすこと。 ・目的に応じて複数の情報を整理しながら適 切な情報を得たり、登場人物の言動の意味な どについて考えたりして、内容を解釈するこ と。 ・観点を明確にして文章を比較するなどし、 文章の構成や論理の展開、表現の効果につ いて考えること。	・粘り強く観点を明確にして文章を比較し、 今までの学習を生かして考えたことを文章に まとめようとしている。 ・進んで表現の効果を考えて描写し、今まで の学習を生かして鑑賞文を書こうとしてい る。 ・学習課題に沿って、積極的に漢字を読ん だり書いたりしようとしている。 ・今までの学習を生かして、積極的に単語の 活用について理解しようとしている。
12	い つ も 本 は そ ば に	「自分らしさ」を認め合う社会へ 父と話せば 六千トライの先に 読書案内 本の世界を広げよう 季節のしおり 冬	・本や文章などには、様々な立場や考え方が 書かれていることを知り、自分の考えを広げ たり深めたりする読書に生かすこと。	・文章を読んで理解したことや考えたことを 知識や経験と結び付け、自分の考えを広げ たり深めたりすること。	・本や文章などには、さまざまな立場や考え 方が書かれていることを進んで知り、今まで の学習を生かして感想を伝え合おうとしてい る。 ・伝統的な言語文化に関するこれまでの学習 を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化 を大切にしようとしている。

1 2 3	走れメロス 漢字に親しもう5 文法への扉3 一字違いで大違い →文法3 付属語 (P244-250) 描写を工夫して書こう 鍵 言葉3 話し言葉と書き言葉 漢字3 送り仮名 国語の学びを振り返ろう	・言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気付くこと。 ・話し言葉と書き言葉の特徴について理解すること。 ・第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むこと。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 ・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 ・単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解するとともに、話や文章の構成や展開について理解を深めること。 ・敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使うこと。 ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解すること。 ・情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うこと。	・自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫すること。 ・論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。 ・互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめること。 ・伝えたいことが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫すること。 ・根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。 ・読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えること。 ・表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすこと。 ・文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えること。 ・目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈すること。 ・観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えること。 ・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすること。	・粘り強く登場人物の言動の意味などについて考え、学習の見通しをもって作品の魅力を文章にまとめようとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 ・今までの学習を生かして、積極的に助詞や助動詞の働きについて理解しようとしている。 ・粘り強く文章の構成や展開を工夫し、学習の見通しをもって物語を創作しようとしている。 ・今までの学習を生かして、積極的に話し言葉と書き言葉の特徴について理解しようとしている。
評価方法		・定期テスト ・ワークシート ・小テスト など	・定期テスト ・ワークシート ・グループでの活動 など	・ワークシート ・提出物 ・授業の様子 など

学習の進め方

～授業～ - 教科書等をしっかりと読み、まずは自分の考えをもちましょう。 - それぞれの考えを共有する中で、様々な考えに触れ、深めていきましょう。 - 周りの人の考えを聴きながら、自分の考えを発展させ、物事を広い視点から捉えられる力をつけましょう。 - グループ活動や発表では、自分の考えを伝えるだけでなく、仲間の考えをしっかりと聴くことが大切です。 - 最後までじっくりと聴き、自分の考えとつなげながら学習していきましょう。 - その日の授業で考えたことを、ふりかえり、次の学習につなげていきましょう。 - 自分の考えだけでなく、周りの人の考えを聴いて、わかったことや気づいたことに目を向けていきましょう。 - 学習したことを、普段の生活につなげて考えていきましょう。 ～家庭学習～ - その日の学習を、教科書・ワークシート・ワークを使って復習しましょう。 - 次の授業の予習を教科書・ワークを使ってしておきましょう。漢字や意味を各自調べておきましょう。 ～テスト～
